

1 関数  $y = -(x^2 + 2x)^2 + 2(x^2 + 2x)$  について，次の問いに答えよ。  
 ((1)7点，(2)13点，計20点)

- (1)  $t = x^2 + 2x$  とするとき， $t$  のとり得る値の範囲を求めよ。  
 (2)  $y$  の最大値と，そのときの  $x$  の値を求めよ。

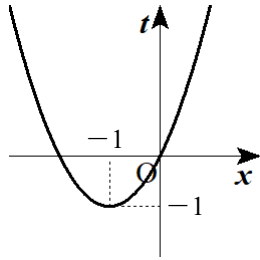
解答

(1)  $t = x^2 + 2x = (x^2 + 2x + 1) - 1$

$= (x+1)^2 - 1$

右のグラフより， $t$  のとり得る  
 値の範囲は

$t \geq -1$



(2)  $y = -(x^2 + 2x)^2 + 2(x^2 + 2x)$  を，

(1) の  $t$  の式で表すと

$y = -t^2 + 2t$

$= -(t^2 - 2t + 1) + 1$

$= -(t-1)^2 + 1$

(1) より， $t \geq -1$  であるから

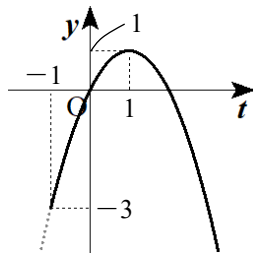
$y$  は  $t=1$  で最大値 1 をとる。

$t=1$  のとき  $1 = x^2 + 2x$

$x^2 + 2x - 1 = 0$

$x = \frac{-2 \pm \sqrt{4 - 4 \cdot 1 \cdot (-1)}}{2} = \frac{-2 \pm 2\sqrt{2}}{2} = -1 \pm \sqrt{2}$

以上から， $x = -1 \pm \sqrt{2}$  のとき 最大値 1



2 表，裏が等確率で出る硬貨が十分多く用意されているとする。 $n$  枚の硬貨を投げて表がちょうど 2 枚出るときの確率を  $p_n$  とするとき，次の問いに答えよ。ただし， $n$  は 2 以上の自然数とする。  
 ((1)7点，(2)13点，計20点)

(1)  $\frac{p_{n+1}}{p_n} < 1$  となる  $n$  の最小値を求めよ。

(2) 表がちょうど 2 枚出る確率が最大となる  $n$  と，そのときの確率を求めよ。

解答

(1)  $p_2 = {}_2C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{4}$ ，

$p_3 = {}_3C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^2 \cdot \left(\frac{1}{2}\right) = \frac{3}{8}$ ，

$p_4 = {}_4C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^2 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^4 = \frac{3}{8}$ ，

$p_5 = {}_5C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^2 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^5 = \frac{5}{16}$ ，

⋮

$p_n = {}_nC_2 \left(\frac{1}{2}\right)^2 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-2} = \frac{n(n-1)}{2} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^n = \frac{n(n-1)}{2^{n+1}}$ ，

$p_{n+1} = {}_{n+1}C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^2 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{(n+1)-2} = \frac{(n+1)n}{2} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n+1}$

$= \frac{n(n+1)}{2^{n+2}}$

よって  $\frac{p_{n+1}}{p_n} = \frac{\frac{n(n+1)}{2^{n+2}}}{\frac{n(n-1)}{2^{n+1}}} = \frac{n+1}{2(n-1)}$

これより  $\frac{n+1}{2(n-1)} < 1$   $n-1 > 0$  であるから

$n+1 < 2(n-1)$   $n > 3$

したがって，自然数  $n$  の最小値は 4

(2) (1) の解答より  $p_3 = p_4 = \frac{3}{8}$

であり，(1) より， $n > 3$  のとき  $\frac{p_{n+1}}{p_n} < 1$  であるから

$p_1 < p_2 < p_3 = p_4 > p_5 > p_6 > \dots$

したがって， $n=3, 4$  のとき確率は最大となり，

そのときの確率は  $\frac{3}{8}$

- 3 自然数  $x, y, z$  が  $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = \frac{3}{4}$ ,  $x > y > z$  を満たすとき,  
 $x+y+z$  が最小となる  $x, y, z$  を求めよ。 (20点)

Mさん：何からすればよいのやら...

Aさん：取っ掛かりがないね。。とりあえず， $x, y, z$  に  
 適当な数を代入してみようか。

Mさん： $x > y > z$  だから， $(x, y, z) = (3, 2, 1)$  を代入すると

$$\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = \frac{1}{3} + \frac{1}{2} + \frac{1}{1} = \frac{2+3+6}{6} = \frac{11}{6}$$

これだと  $\frac{3}{4}$  を超えるから， $(x, y, z) = (6, 5, 4)$

$$\text{を代入すると } \frac{1}{6} + \frac{1}{5} + \frac{1}{4} = \frac{10+12+15}{60} = \frac{37}{60}$$

これだと  $\frac{3}{4}$  より小さくなる。。

Aさん： $x > y > z$  のとき  $\frac{1}{x} < \frac{1}{y} < \frac{1}{z}$  だから，

$\frac{1}{z}$  が大きすぎても小さすぎてもダメな気がする。

Mさん：まずは  $\frac{1}{z}$  の範囲を考えてみましょうか！

### 解答

$x, y, z$  は自然数であり， $x > y > z$  であるから  $\frac{1}{x} < \frac{1}{y} < \frac{1}{z}$

$$\text{よって } \frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} < \frac{1}{z} + \frac{1}{z} + \frac{1}{z} = \frac{3}{z}$$

これより， $\frac{3}{4} < \frac{3}{z}$  から  $z < 4$

また， $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} > \frac{1}{z}$  であるから  $\frac{3}{4} > \frac{1}{z}$  よって  $z > \frac{4}{3}$

以上から  $\frac{4}{3} < z < 4$   $z$  は自然数であるから  $z = 2, 3$

(i)  $z = 2$  のとき

$$\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = \frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{2} = \frac{3}{4} \text{ より } \frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{4}$$

$x > y$  であることから  $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} < \frac{2}{y}$  より  $\frac{1}{4} < \frac{2}{y}$

よって  $y < 8$

また， $\frac{1}{4} > \frac{1}{y}$  より  $y > 4$

したがって， $4 < y < 8$  より  $y = 5, 6, 7$

(i)-①  $y = 5$  のとき， $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{x} + \frac{1}{5} = \frac{1}{4}$  より  $\frac{1}{x} = \frac{1}{20}$   
 よって  $x = 20$

(i)-②  $y = 6$  のとき， $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{x} + \frac{1}{6} = \frac{1}{4}$  より  $\frac{1}{x} = \frac{1}{12}$   
 よって  $x = 12$

(i)-③  $y = 7$  のとき  $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{x} + \frac{1}{7} = \frac{1}{4}$  より  $\frac{1}{x} = \frac{3}{28}$

このとき  $x = \frac{28}{3}$  となるが， $x$  は自然数より不適。

(ii)  $z = 3$  のとき

$$\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = \frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{3} = \frac{3}{4} \text{ より } \frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{5}{12}$$

$x > y$  であることから  $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} < \frac{2}{y}$  より  $\frac{5}{12} < \frac{2}{y}$

よって  $y < \frac{24}{5}$

また， $\frac{5}{12} > \frac{1}{y}$  より  $y > \frac{12}{5}$

したがって， $\frac{12}{5} < y < \frac{24}{5}$  より  $y = 3, 4$

ここで  $y > z$  であるから， $y = 3$  は不適。

(ii)-①  $y = 4$  のとき， $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{x} + \frac{1}{4} = \frac{5}{12}$  より

$$\frac{1}{x} = \frac{2}{12} = \frac{1}{6} \text{ よって } x = 6$$

(i), (ii) から， $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = \frac{3}{4}$ ,  $x > y > z$  を満たす

自然数  $x, y, z$  は

$$(x, y, z) = (20, 5, 2), (12, 6, 2), (6, 4, 3)$$

以上より， $x+y+z$  が最小となる  $x, y, z$  は

$$(x, y, z) = (6, 4, 3)$$

4 関数  $y=3^{2x}+3^{-2x}-4(3^x+3^{-x})$  について， $3^x+3^{-x}=t$  とおくととき， $y$  を  $t$  を用いて表せ。また， $y$  の最小値とそのときの  $x$  の値を求めよ。(20点)

**解答**

$3^x+3^{-x}=t$  であるから

$$t^2=(3^x+3^{-x})^2=3^{2x}+2+3^{-2x}$$

よって  $3^{2x}+3^{-2x}=t^2-2$

したがって  $y=3^{2x}+3^{-2x}-4(3^x+3^{-x})$

$$=t^2-2-4t$$

$$=t^2-4t-2$$

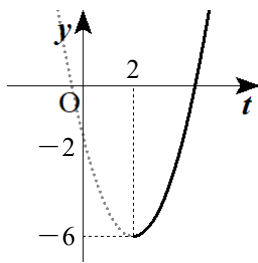
相加平均と相乗平均の大小関係により，

$t=3^x+3^{-x} \geq 2\sqrt{3^x \cdot 3^{-x}}=2$  であるから

$t \geq 2$  における  $y=t^2-4t-2$  の最小値は

$$\begin{aligned} y &= t^2 - 4t - 2 \\ &= (t-2)^2 - 4 - 2 \\ &= (t-2)^2 - 6 \end{aligned}$$

これから， $t=2$  のとき  
最小値  $-6$  をとる。

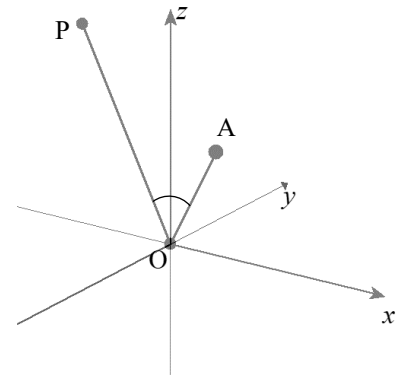


$t=2$  となるのは  $3^x=3^{-x}$

すなわち， $x=0$  のときであるから  
 $x=0$  のとき最小値  $-6$

$t=2$  となるのは  $3^x$  と  $3^{-x}$  の相加平均と相乗平均の大小関係における，等号が成立するときである。

5 原点  $O(0, 0, 0)$ ，  
定点  $A(1, 0, 2)$ ，  
動点  $P(2t, t+1, -t+3)$   
がある。  
 $\angle AOP$  の大きさが最小となる  
ときの実数  $t$  の値を  
求めよ。(20点)



**解答**

$\vec{OA} = (1, 0, 2)$ ， $\vec{OP} = (2t, t+1, -t+3)$  であり，

$$\vec{OA} \cdot \vec{OP} = |\vec{OA}| |\vec{OP}| \cos \angle AOP$$

が成り立つ。

ここで  $\vec{OA} \cdot \vec{OP} = 1 \cdot 2t + 0 \cdot (t+1) + 2(-t+3)$

$$= 2t - 2t + 6 = 6$$

$$|\vec{OA}| = \sqrt{1^2 + 0^2 + 2^2} = \sqrt{5}$$

$$|\vec{OP}| = \sqrt{(2t)^2 + (t+1)^2 + (-t+3)^2}$$

$$= \sqrt{4t^2 + t^2 + 2t + 1 + t^2 - 6t + 9}$$

$$= \sqrt{6t^2 - 4t + 10}$$

$$= \sqrt{2} \cdot \sqrt{3t^2 - 2t + 5}$$

よって， $6 = \sqrt{5} \cdot \sqrt{2} \cdot \sqrt{3t^2 - 2t + 5} \cos \angle AOP$  より

$$\cos \angle AOP = \frac{6}{\sqrt{10} \cdot \sqrt{3t^2 - 2t + 5}}$$

ここで， $0^\circ \leq \angle AOP \leq 180^\circ$

であるから， $\cos \angle AOP$  が最大  
となるとき， $\angle AOP$  の大きさは  
最小となる。

$$3t^2 - 2t + 5$$

$$= 3\left(t^2 - \frac{2}{3}t\right) + 5$$

$$= 3\left\{\left(t - \frac{1}{3}\right)^2 - \frac{1}{9}\right\} + 5$$

$$= 3\left(t - \frac{1}{3}\right)^2 - \frac{1}{3} + 5$$

$$= 3\left(t - \frac{1}{3}\right)^2 + \frac{14}{3}$$

であるから， $3t^2 - 2t + 5 > 0$  である。

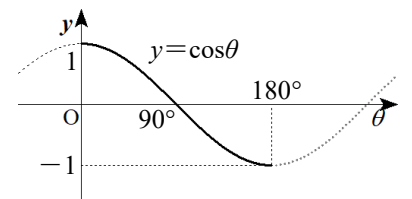
したがって， $\cos \angle AOP$  が最大となるのは， $3t^2 - 2t + 5$  が最小となる  
ときであり，

$$3t^2 - 2t + 5 = 3\left(t - \frac{1}{3}\right)^2 + \frac{14}{3}$$

であるから， $3t^2 - 2t + 5$  は  $t = \frac{1}{3}$  のとき最小となる。

以上より， $\angle AOP$  の大きさが最小となる実数  $t$  の値は

$$t = \frac{1}{3}$$



$\theta$  が小さいほど  $\cos \theta$  の  
値は大きくなる。